

事業概要	明るく、楽しく、ワクワクする地域づくりのお手伝い (1)コンサルティング及び調査、政策提言(国及び地方自治体) (2)人材育成と教育として、学びの場・高等教育機関の設置と運営支援 (3)新しいビジネスの成長・事業化の促進、業初期段階への資金供給協力 (4)ハローワーク(人材募集支援、就業斡旋、情報提供) (5)広報・啓発と出版の事業 (6)国内外の関連機関との交流活動(連携、共同事業の実施、事業運営及び業務の受託) (7)前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業。
部署	SDAメディア研究センター
所在地	〒321-2344 栃木県日光市猪倉3392番地175
連絡先	(電話番号)0288-25-7073 (E-mail) hideaki@ikou.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	真のSDGsを実現した持続可能な社会。 SDGsは本来、大企業や人工物主体の都市が主導となって動くものではない。21世紀になって経済一辺倒の社会が高まるのと同様に、地球の息切れが急速に高まることとなった。しかし日本国内では、この状態を暗黙了解し、地球に生かされているという感覚を失ったままSDGsが進められている。この相矛盾する関係性の中進められているSDGsは、17のゴールの連関性が蔑ろにされ、地球の健康が無視されたままの社会が作られようとしています。そこには持続可能性が見えないままの社会があるようです。そこで改めて目指すべき社会像は、地球という自然の中に生かされていることに感謝しながら周囲の人たちと関わり合いながら作られていく社会です。その実現のために当協会では、持続可能な社会や地球に生かされているということを理解し、地域で活躍する人の育成や地域づくり拠点のお手伝いをしています。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

分野

エネルギー／サーキュラーエコノミー／その他(教育)

地域づくり拠点及び地域で活躍する人づくりを目的とした「SDGsスクール・プロジェクト」を展開しています。そのプロジェクトを軸として、下記のようなことを行います。

- ・ 地域活性化を学んだ地域で活躍する人(住民含む)の育成(教育機会の提供)をし、地域活性化のお手伝いをします。
- ・ 自然エネルギーの利活用を軸とした地域づくりロードマップの作成。
- ・ 地域住民を主とした地域づくり協議会の組成、運営のお手伝い。
- ・ 関係人口を増やすためのイベント開催、告知活動。
- ・ デジタルポイントを利用した仕組みの提案。
- ・ 移住をすすめるためのワーケーションの提案。
- ・ 空き家対策として、自然エネルギーを活用したリフォーム案(SDGs HOUSE)の提案。(カフェや地産地消のお店を含む)
- ・ 半農半Xを進めるためのネットワーク形成、教育機会(農業教育)の提供。
- ・ 高等教育機関のサテライトキャンパスの提供。(図書施設含む)

●環境、経済、社会的側面から地域の課題解決に結びつくか？

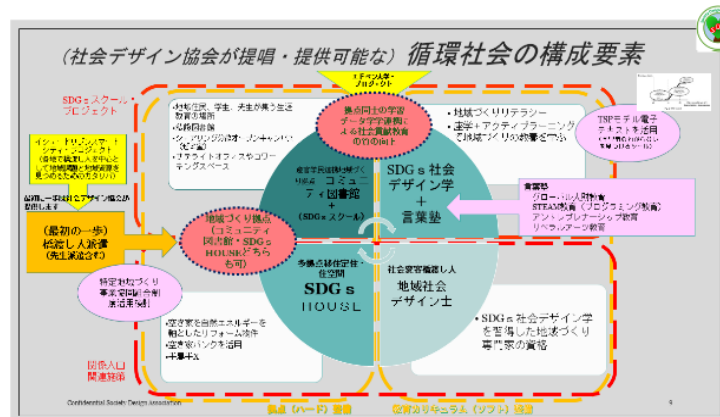
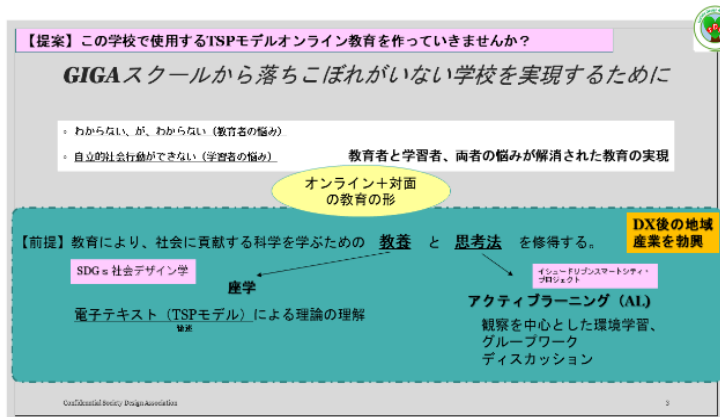
環境: 自然エネルギーの活用による電気エネルギーの地産地消を中心とした地域づくりを進めるため、無理な環境破壊を起こすことなく、環境生態系を整えていきます。

経済: 医食(職)住や一次産業の地産地消、域内循環を軸とした地域づくりを進めるため、地域の経済的自立を図ります。

社会: 地域内で人の育成から行い移住定住までを視野に入れた、域外への流出をなるべく避ける形で地域の経済的自立を図った地域づくりを行っていくため、外部経済(域外経済)の影響をあまり受けることなく、安心・安定した社会を目指すことができます。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

「SDGsスクール・プロジェクト」は、オリジナルカリキュラムである「SDGs社会デザイン学」(内閣府の地方創生SDGs官民連携プラットフォーム地域人材育成のための分科会にて構築)を提供し、座学とPBLのカタチで構成、地域で活躍する人(地域社会デザイナー)の育成をはかります。当該カリキュラムは、オンラインとオフラインのハイブリッド型で展開され、かつその場所は地域づくり拠点も兼ねるため、多くの関係人口が増えることが期待されます。また、新たな地域資源の発見も期待され、今までにはないオリジナルな地域づくりが期待されます。その上、そこで育成された地域社会デザイナーは、地域に残り新たな地域資源に基づいたオリジナルな地域づくりに貢献することをしていきます。



URL <https://sodesign.or.jp/>
<https://www.youtube.com/watch?v=u2TQKDLsq5A>

上記ソリューションを提供できる地域について

全国

自者の特徴	<p>地域との協業においては、栃木、秋田、宮城で産学連携を中心に協業活動をしてきました。また、これから、SDGsスクール・プロジェクトの一環で、海老名市のアフタースクールにて、「SDGs活動はもったいないからはじめよう」というテーマで話しています。また、さらに神奈川県横須賀市、静岡県浜松市、富士市などで活動を予定しています。</p> <p>この「SDGsスクール・プロジェクト」は、だれ一人取り残さない質の高い教育を標榜して進められているプロジェクトで、地域づくりの人の育成をするために、座学とPBLを組み合わせた形で構成されています。また、ここで行われる教育のカタチは、データドリブン型で作られており、そのための電子テキスト向けオリジナルアプリを作成の上、提供されます。また、PBLは地域課題の解決であり、地域住民との交流をベースに作られていきます。</p>
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	—